

スマホでも
読めます

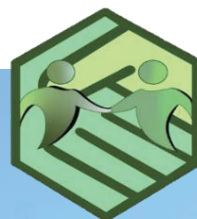


防衛省東北防衛局広報紙

東北のかなめ

vol.72 (2026.3)

東北6県において、地域と防衛との共生を促進するため、
地域と防衛との架け橋になっている東北防衛局の活動をメインに、
関連する情報について、年4回、発信します。



沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練の見学会(令和8年2月3日)

【CONTENTS】

特集1 沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練を支援

特集2 第48回防衛セミナー in 仙台

東北防衛局の活動

三沢飛行場及び八戸飛行場の第一種区域等の見直し

東北防衛局、青森県及び三沢米軍のハイレベル

意見交換会の実施

令和7年度東北防衛局長感謝状の贈呈

日米交流 ピックルボール in Misawa 2025

防衛施設周辺対策事業実務担当者会議の開催

海上自衛隊油船の進水式

施設整備調査チームの対処能力向上

地域と防衛との共生：関係する皆さまからのご寄稿

米軍三沢基地

～おばけと笑い声、そして楽しい時間

山形県東根市

～神町駐屯地を発着点としたマラソン大会

陸上自衛隊神町駐屯地

～神町駐屯地と地域との連携

穂積建設工業株式会社

～海自八戸外(5)宿舎改修建築工事

東北防衛局は、令和8年1月21日から2月14日までの間、宮城県の王城寺原演習場で行われた在沖米海兵隊による「沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練」の円滑かつ安全な実施や地域住民の不安解消のため、演習場内に「現地連絡本部」を設置しました。

現地連絡本部では、職員約35人程度で、訓練部隊に対する支援や関係自治体などへの情報提供、演習場周辺地域の巡回警備などを24時間態勢で行いました。

1月27日、訓練の実施にあたり、第12海兵沿岸連隊第3大隊運用将校のジェームズ・W・ハモンド少佐は、地元自治体との親交を深めるため、演習場が所在する大和町、大衡村及び色麻町を表敬訪問しました。ハモンド少佐は、「訓練を受け入れていただき感謝している。日米で合意されている内容を遵守し、安全第一に訓練を実施したい。」と述べました。



現地連絡本部の看板を設置する
同本部長(佐藤企画部長)(1月21日)

また、2月3日には、訓練見学会を開催し、宮城県及び演習場が所在する3町村の関係者約30名と報道関係者に参加いただきました。参加者は、海兵隊員による155ミリリゅう弾砲や今回の移転訓練で初めて使用されたロケットランチャーなどの性能や射撃指揮所の役割等の説明に耳を傾けていました。

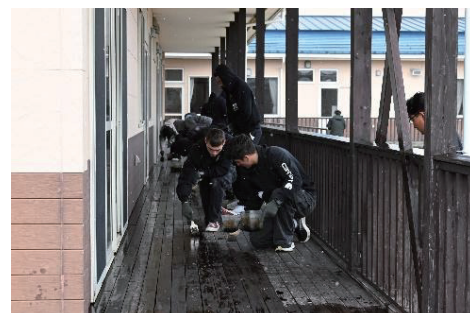


浅野俊彦大和町長(左)を表敬する
ハモンド少佐(右)(1月27日)

射撃訓練は事故等もなく、無事に全日程を終了しました。

2月7日、訓練を終えた海兵隊員は、地域貢献と交流のため、おおひら万葉こども園(大衡村)を訪問しました。海兵隊員は、こども園内のウッドデッキに防腐剤を塗装する奉仕活動を行い、その後、こども園の職員との交流会に参加しました。餅つき体験の後、こども園の職員による民謡や海兵隊員による歌が披露され、交流を深めました。

この奉仕活動と交流会は、おおひら万葉こども園の皆さまの国際交流の重要性についての深い認識のもと、多大なご協力を得て企画・実施したものです。こども園の皆さまのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。



米海兵隊員による奉仕活動(2月7日)

【沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施】

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施については、沖縄県の負担軽減のため、平成8年のSACO最終報告に基づき、本土5演習場(矢日別演習場(北海道)、王城寺原演習場(宮城県)、北富士演習場(山梨県)、東富士演習場(静岡県)、日出生台演習場(大分県))の関係自治体の御理解と御協力を得て、平成9年度から行われています。

1月27日、仙台市宮城野区文化センターにおいて、防衛大臣科学技術顧問と防衛科学技術委員会委員長を務めている前川禎通東北大学名誉教授と防衛省防衛政策局インド太平洋地域参事官付WPS国際連携室長の松沢朝子氏を講師にお招きし、「第48回防衛セミナー」を開催しました。東北防衛局は、防衛政策や自衛隊の活動等について、より多くの方々の理解と協力を得るため、各地で防衛セミナーを開催しており、この日の防衛セミナーには、地元自治体の関係者や地域住民の方々など、約130名が来場しました。

セミナーの開演に当たり、主催者である池松英浩東北防衛局長は、「防衛セミナーを重視しており、活性化のため、特に参加者の拡充に取り組んでいる。幅広い層の方に来場いただくため、地元の大学などにも案内した。また、横の連携を深める意味も込めて、地元の自衛隊にも積極的に案内した。講師についても、こだわらせていただいた。」と挨拶しました。



主催者挨拶を行う池松局長



防衛大臣科学技術顧問・防衛科学技術委員会委員長の前川禎通氏



防衛省WPS国際連携室長の松沢朝子氏

防衛セミナーの第1部では、「科学技術と防衛」をテーマに、令和7年6月、初の防衛大臣科学技術顧問に任命された前川禎通氏が、日本と海外における科学技術や防衛分野での研究開発の現状、防衛科学技術委員会の活動内容、防衛省の科学技術への取り組みなどについて、解説しました。

続く第2部では、「防衛省と女性・平和・安全保障(WPS: Women, Peace and Security)」をテーマに、防衛省WPS国際連携室長の松沢朝子氏が、WPSの概要や意義、防衛省におけるWPSに関する取り組みや進展などについて、解説しました。

来場者からは、「科学技術やWPSなど、普段テレビやSNSなどで目にしない話を聞いて良かった。」「防衛セミナーに初めて参加したが、大変有意義な時間だった。」などの感想が寄せられました。

東北防衛局としては、更なる参加者の拡充に取り組んでいきます。

防衛セミナーについては、防衛省・自衛隊公式動画チャンネルで公開予定です。4月中旬の公開を予定していますので、是非ご覧下さい。



東北局HP/防衛セミナー

三沢飛行場及び八戸飛行場の第一種区域等の見直し

防衛省では、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第4条、第5条第1項及び第6条第1項の規定に基づき、三沢飛行場及び八戸飛行場の第一種区域等（住宅防音工事や移転措置事業の対象区域など）の指定（解除）告示を行いました。告示の適用にあつては、飛行場周辺住民への周知期間を考慮し、経過措置（1年6箇月）を設け、令和9年10月1日からの適用となっています。

今般の第一種区域等の見直しにより、新たに住宅防音工事や移転措置事業の対象となる住宅もありますが、現在、防音工事の対象となっている住宅が対象外となることもあります。対象外となる場合には、1年6箇月の経過措置の期間中に防音工事の希望届の提出があれば、現行の第一種区域等が解除された後も現行の工事内容で防音工事が実施できるようになっております。

第一種区域等の見直しにおける取り組み等にあつては、東北防衛局のホームページをご確認いただくとともに、ご相談等があれば東北防衛局コールセンター（0570-000-585）にお問い合わせ下さい。



東北局HP/
第一種区域等の見直し

東北防衛局、青森県及び三沢米軍のハイレベル意見交換会の実施

東北防衛局と三沢米軍の間では、互いの取組みや地元の状況などについて、日頃から各レベルで情報共有や意見交換を実施しています。

ハイレベルでの意見交換に関しては、従来から様々な機会に行ってききましたが、令和7年2月に、定期的な意見交換の枠組みに合意し、同年5月に東北防衛局において、この枠組みに基づく第1回目の意見交換会を実施しました。

同年11月には、宮下青森県知事の参加を得て、第2回目となる意見交換会を三沢基地において実施しました。意見交換会には、宮下知事のほか、米空軍のデイヴィッドソン基地司令官、ライオン海軍基地隊司令、東北防衛局池松局長、北部航空方面隊司令官船倉空将、第3航空団司令藤田空将補が出席し、和やかな雰囲気の中、自由に意見を交わしました。

日頃から米軍、防衛局、自衛隊、青森県の間では情報を共有しながら、基地を巡る共通の課題に取り組んでいますが、相互理解を深めるため、意見交換の場を持つことはとても有意義です。引き続き、このような意見交換の場を持ちたいと考えています。



宮下知事（奥中央）の出席を得て、
意見交換会を開催

令和7年度東北防衛局長感謝状の贈呈

令和7年12月1日、池松東北防衛局長は、碓井公一社会福祉法人三矢会理事長兼おおひら万葉こども園園長に、感謝状を贈呈しました。

碓井理事長は、教育者としての見識に基づき、長きに渡り、王城寺原演習場における沖縄県道104号線越え実弾射撃移転訓練に際し、こども園における海兵隊員による奉仕活動や園児・職員との日米交流の企画・実施などに多大なるリーダーシップを発揮していただきました。



(左から)池松局長、碓井理事長、
小川ひろみ大衡村長

日米交流 ピックルボール in Misawa 2025

12月6日、青森県の三沢市国際交流スポーツセンターにおいて、米軍三沢基地とその周辺に在住する日米の小学校以上の方を対象に日米交流 ピックルボール in Misawa 2025を開催しました。イベントに参加した日米の幅広い年齢層の約40名は、テニス・卓球・バドミントンを組み合わせた米国発祥のラケットスポーツ「ピックルボール」で汗を流し、交流を深めました。

ピックルボールは、米国でいま最も急成長しているスポーツと言われており、日本でも流行の兆しが見られています。東北防衛局は、米軍三沢基地内のピックルボール愛好者の集まりである「Misawa Pickleball」の協力を得て、今回のイベントを開催しました。

日米の参加者は混合4チームに分かれ、ストラックアウトや玉入れといったミニゲームも交えながらピックルボールを練習し、最終的にはダブルス形式での試合で交流を深めました。



Misawa Pickleballのメンバーが
サーブのレッスン



ダブルス形式で試合を体験



汗を流した後、みんなで集合写真

参加者からは、「スポーツを通じていろんな人と交流できて楽しかった。」「日本もピックルボールも好きなので、みんなとプレイできてよかった。」などの感想が寄せられました。

イベント終了後には、米国人参加者から日本人参加者に、基地内でまた一緒にピックルボールをプレイしようと声をかける姿も見られました。

令和7年度防衛施設周辺対策事業実務担当者会議の開催

企画部は、管轄区域内3会場（福島県西郷村（10月30日）、青森県三沢市（11月5日）、仙台市（11月12日））において、令和7年度防衛施設周辺対策事業実務担当者会議を開催しました。

「周辺対策事業」とは、防衛施設の周辺地域の負担軽減を目的として、関係自治体が行う生活環境の整備等に必要なる事業に対して助成を行うものです。東北防衛局では、その制度について理解を深めていただくため、定期的に説明の機会を設けており、今回の実務担当者会議は、その一環です。

会議では、関係自治体の実務担当者を対象に、東北防衛局の担当者から制度や事務手続きの説明を行いました。また、会議後には、自治体ごとに、東北防衛局の担当者が疑問点などに応える「個別相談」の時間も設けました。

会議に参加した関係自治体の担当者からは、「今後も定期開催をお願いしたい。」「個別相談の時間をもっと長くしてほしい。」などのご意見がありました。頂いたご意見を踏まえ、よりよい会議を開催できるよう、努めてまいります。

東北防衛局としては、地域の皆さまとの意思疎通を密にし、よりよい事業を考えていきたいと考えています。いつでも、ご相談下さい。



実務担当者会議(仙台市)



個別相談会(仙台市)



個別相談会(西郷村)

～在日米軍基地で働きませんか～

エルモでは、在日米軍基地で勤務する従業員の募集を行っています。

興味のある方は、エルモホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

求人情報提供メールサービスに登録すると、希望する求人情報がホームページに掲載される都度、お知らせメールが送信されますのでご利用下さい。

【X（旧Twitter）】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。
ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）@LMO_recruit」



求人情報提供
メールサービス



求人情報
本州・九州の基地



【窓口応募受付・お問い合わせ先】 エルモ三沢支部 管理課管理係

電話：0176-53-4165 住所：青森県三沢市平畑1-1-25

（担当施設：三沢飛行場、八戸貯油施設、車力通信所）

LMO

検索

<https://www.lmo.go.jp>

海上自衛隊油船の進水式

令和7年12月9日、株式会社みらい造船(宮城県気仙沼市)において、海上自衛隊の油船(あぶらぶね)の進水式が行われました。本船は、護衛艦等の運用支援を実施する支援船に区分される船舶で、港内に停泊中の艦艇への燃料補給を行います。

東北防衛局郡山防衛事務所は、本船の建造工事の監督・検査を実施しました。東北6県での支援船の建造は、5年ぶりとなりましたが、円滑な建造に支障が生じないよう、みらい造船、防衛装備庁、海上幕僚監部、使用部隊となる海上自衛隊舞鶴警備隊との連絡を密にし、監督・検査にあたってきました。

式典には、株式会社みらい造船の吉田慶吾代表取締役会長、防衛装備庁調達事業部の浅見総括装備調達官、郡山防衛事務所の内山田所長、舞鶴警備隊の北山司令など、関係者約40名が出席しました。

本船は「Y051」と命名され、参列者は、新しい船舶の誕生を祝い、無事の航海を祈念しました。

無事進水した本船は、その後、ぎ装工事と海上公試を経て、令和8年3月、舞鶴警備隊に引き渡されました。



進水を記念して集合写真



支綱切断(しこうせつだん)ののち、
進水する油船「Y051」



油船「Y051」の全景
【写真: いずれも(株)みらい造船提供】

ドローンの規制についてのお知らせ

小型無人機等飛行禁止法により指定されている**自衛隊施設**／**米軍施設**その**周辺地域**(周囲約300m)の上空における**ドローン**等の飛行は、**原則として禁止**されています。

これに違反した場合、次のような措置／罰則もあります。

- 警察官等による安全確保措置
- 最大懲役1年／罰金50万円

対象防衛関係施設および飛行をさせたい場合の手続きの詳細については、防衛省HPをご参照ください。



○お問い合わせ先: 東北防衛局 地方調整課 022-297-8212
三沢防衛事務所 0176-53-3118
E-mail: drone-th@tohoku.rdb.mod.go.jp (共通)

周辺財産の個人・企業等に対する有償使用許可のご案内

三沢・八戸・松島の各飛行場周辺、三沢対地射爆撃場周辺及び王城寺原演習場周辺には、建物等の移転により買入れた土地(移転補償跡地)が所在し、この土地を「周辺財産」と称しています。

土地の有効活用を図る観点から、周辺財産の行政目的を妨げない範囲で、**個人、企業等に対しても、一定の条件の下、有償での使用許可を行うこととしています。**

○お問い合わせ先

東北防衛局 施設管理課

電話: 022-297-8213

○こちらから関連ページへアクセスできます



施設整備調査チームの対処能力向上

東北防衛局には、地震、大雨などの災害等により被災した自衛隊施設について、技術支援等を迅速・的確に実施し、早期復旧を図るため、調達部の職員で構成される「施設整備調査チーム」が設置されています。

調達部は、災害等が発生し、技術支援を要請されたときに、迅速かつ的確な対処ができるよう、定期的に施設整備調査チームのチーム員を対象に教育・訓練を行っています。

今年度は、令和7年12月23日と令和8年2月27日に、教育を行い、12月23日の教育では、災害時に備えて保管している資機材について、台帳と照らし合わせながら確認し、その操作方法の確認を行いました。

また、2月27日の教育では、応急危険度判定のマニュアル動画を用いた教育を実施し、緊急事態等における対処能力の向上を図りました。



保管している資機材の確認
(12月23日)



応急危険度判定のマニュアルを教育
(2月27日)

応急危険度判定：地震等により被害を受けた建築物などについて、二次災害を防止するため、余震等による倒壊の危険性や外壁等の落下などの危険性を応急的に判定すること。

東北防衛局では 事務官・技官を募集しています

詳しくは、
防衛省HPを
ご確認ください。



『自衛隊・在日米軍・地域を繋ぐ架け橋として』



建設現場の監督確認(陸自郡山駐屯地)
(令和7年7月18日)

『技術の知識や経験を日本の防衛のために』

米軍三沢基地 ～おばけと笑い声、そして楽しい時間

米軍三沢基地の家族と基地周辺地域の皆様がハロウィーンを祝うために集まり、トランク・オア・トリートやゾンビ・ラン、基地内でのトリック・オア・トリートなどのイベントを楽しみました。

お菓子や笑い声、そして思い出を分かち合いながら、絆と地域のつながりをさらに深めました。

チーム・ミサワにとって、これらのイベントは単なる恒例行事であるだけでなく、人々をつなぐ大切な機会となっています。イベントは、地域との交流の機会であり、「任務の強さの源は人にある」と気付かせてくれる経験の共有を育みます。

トランク・オア・トリートでは、創意あふれるテーマで飾られた車が通りに並び、子どもたちはお菓子と笑顔を集めて歩きました。このイベントは、安全で家族が楽しめる場となったほか、軍関係者と地域住民が交流する貴重な機会となりました。

家族でふれあいながら、充実した時間をともに過ごす、このような機会を通じ、基地内外の垣根を越えた関係が強化され、また、日本のパートナーである皆さまが、私たちのコミュニティにとって欠かせない存在であると気付かせてくれます。

笑い声や伝統の共有、そして心に残る思い出を通じ、参加者は、米国と日本のコミュニティ間の理解を深め、制服の向こう側には、故郷と呼ぶ場所を深く愛する家族や友人がいることを思い出しました。

第35戦闘航空団は、これからも、インクルージョンと一体感を促進するイベントを開催し、生活の質の向上と、基地の内外で共に繁栄するコミュニティのパートナーシップの強化に努めてまいります。



デコレーションされた車が並ぶトランク・オア・トリートの会場



お菓子を集める子どもたち



たくさんのお菓子で笑顔の子どもたち



仮装をして記念撮影

山形県東根市 ～神町駐屯地を発着点としたマラソン大会

東根市は、山形県の中央部、村山盆地に位置し、温泉のある自然豊かな田園都市で、四季を通して旬の果物が楽しめる「果樹王国」です。

本市は、さくらんぼの生産量日本一、さくらんぼの王様「佐藤錦」発祥の地であり、その品質の高さから「東根さくらんぼ」として国の地理的表示(GI)保護制度に登録されるなど、高い評価を得ています。また、全国でも珍しい果物名を冠した「さくらんぼ東根駅」や、さくらんぼの種を吹き飛ばした距離を競うユニークなイベント「さくらんぼ種飛ばし大会」など、さくらんぼにこだわったまちづくりに取り組んでいます。

なかでも、毎年6月に陸上自衛隊神町駐屯地を会場に開催される「果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会」は、県内外から約1万人のランナーが参加し、神町駐屯地を発着点に旬のさくらんぼロードを駆け抜ける、東北有数の観光マラソンとなっています。



市民総出のおもてなしが魅力の
「果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会」

会場内で行われている軽装甲機動車や偵察用オートバイ等の装備品展示、野外炊事車で調理した自衛隊特製カレーの振る舞いなど、イベントを通して隊員の皆さんと交流できることも参加者の皆さんから好評を得ています。



メイン会場は発着点の神町駐屯地



特製カレーの振る舞いなど、自衛隊のブースは大好評

東根市では、今後も駐屯地が所在するまちとしての特色を生かしながらまちづくりに取り組んでいきます。四季折々の魅力が詰まった東根市にぜひお越しください。

陸上自衛隊神町駐屯地 ～神町駐屯地と地域との連携

東根市は、山形県の中央部、村山盆地に位置し、寒暖差は大きいものの、地震や風水害等自然災害は少なく、農作物に恵まれており、日本一の生産量を誇るさくらんぼをはじめ、りんご、もも、ぶどう、ラ・フランスなどの果樹生産が盛んで「果樹王国ひがしね」と言われています。



神町駐屯地の全景

「陸上自衛隊神町駐屯地」は、昭和31年(1956年)に山形県東根市に開設され、第6師団は、山形・宮城・福島 of 南東北3県の防衛警備・災害派遣などを担当し、その司令部は山形県東根市の神町駐屯地にあります。国土や郷土を守る防衛警備を主たる任務としており、国内外で多発している大規模災害にも迅速に対応するため、日夜厳しい訓練に励んでいます。

駐屯地の地元、神町地区では、2月の雪灯籠祭り、5月の神町祭り、7月の納涼夏祭りなど、1年を通して、様々なイベントがあります。神町地区では、地域住民と駐屯地の相互理解と地域発展を期して、神町地区の住民と多くの自衛隊員が一丸となり活動しています。



第6師団・神町駐屯地創立記念行事

また、神町駐屯地では、第6師団・神町駐屯地創立記念行事、装備品展示パークのさくら一般開放、さくらんぼマラソン大会(駐屯地スタート・ゴール)などの地域との交流・広報活動の定期的な開催なども行われています。



さくらんぼマラソン大会

神町駐屯地は、防衛任務だけでなく、地域の防災、教育、交流の面において不可欠な存在として、地域の理解と支持が得られるよう、努めています。



納涼夏祭り



神町雪灯籠



さくら一般開放

穂積建設工業株式会社 ～海自八戸外(5)宿舎改修建築工事

穂積建設工業株式会社(本社:青森県八戸市)は、東北防衛局発注の「海自八戸外(5)宿舎改修建築工事」において、令和7年度優秀工事等顕彰を受賞いたしました。

当工事では、陸上自衛隊八戸地区の宿舎の全面改修(1棟)と屋上防水の改修(2棟)、陸上自衛隊六ヶ所対空射撃場の浴場等の新設工事を実施しました。

特に、屋上防水改修を施工する2棟においては、入居者が生活をする中での工事であったため、仮設物の転倒・倒壊防止、安全通路の確保などの安全対策や生活環境に細心の注意を払い、部隊を含めた関係者と密に連携を図りました。また、陸上自衛隊六ヶ所対空射撃場の浴場新設においても、部隊と随時連絡を取り合い、工程管理を徹底することで、円滑な施工を実現しました。

これらの取り組みの結果、協力業者を含め無事故・無災害で工事を完了したほか、工事区域周辺の道路清掃を実施し、環境の美化に努め、高い評価をいただきました。

当社は、明治12年(1879年)の創業以来、明治・大正・昭和・平成の四つの時代を地域とともに歩んでまいりました。令和という新しい時代を迎え、「皆様に喜んでもらえる、良い仕事を。」という経営理念のもと、これからも地域社会に貢献し、より快適で安心できる社会の実現に向けて、誠実なものづくりに努めてまいります。



穂積建設工業株式会社



全面改修を実施した宿舎



新設した浴場の外観

編集後記

この度、東北防衛局は、朝雲新聞社から「朝雲優秀掲載賞」を頂きました。

自衛隊の活動などを伝える専門紙「朝雲」を発行する朝雲新聞社は、毎年、記事の投稿に積極的な部隊などに、この賞を贈っています。東北防衛局は、記念すべき10年連続での受賞をすることができました。

これからも、地域と防衛との架け橋になっている東北防衛局の活動を発信していきます。

